

経営計画

南都銀行グループは、2020年から2030年までの10年間を計画期間とする経営計画「なんとミッションと10年後に目指すゴール」の達成に向け、取り組んでいます。

2020

なんとミッション



地域を発展させる

— チエ・ヒト・カネの提供により、地域・お客さまの活力を創造する



活力創造人材を生み出す

— 地域・お客さまにとって「おもしろい」人材を生み出す



収益性を向上させる

— 地域・お客さまの活力を創造し、南都銀行グループの収益を極大化する

経営計画とSDGs

経営計画「なんとミッションと10年後に目指すゴール」は、なんとミッション「地域の発展」・「活力創造人材の創出」・「収益性の向上」の遂行を通じて持続可能な地域社会の実現を目指すものであり、SDGsのゴールと方向性は同じです。

SDGsの目標 17の目標と169のターゲット

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



NANTO なんとミッション

- 地域の発展
- 活力創造人材の創出
- 収益性の向上

地域・社会の
課題解決

持続可能な
地域・社会の実現

2025

中間目標

顧客向けサービス業務利益^{※1}
黒字化

OHR^{※2} 70%未満 ROA 0.25%以上

活力創造に関わる資格^{※3}保有者数
1,000人

2030

目指すゴール

活力創造No.1グループ

ジブンゴトとして、地域のお客さまの事業や資産運用についての不安や心配を解消・解決し、最も活力を創造できるグループ

奈良県(実質)県内総生産^{※4}

約3,500億円増加
(2016年度比+10%)

経営人材^{※5}創出数

350人

ROA

0.35%以上

| 中間目標 (単体) | 2019年度実績 | 2020年度実績 |
|----------------|----------|----------|
| 顧客向けサービス業務利益 | ▲44億円 | ▲9億円 |
| OHR | 85.0% | 71.7% |
| ROA | 0.12% | 0.25% |
| 活力創造に関わる資格保有者数 | 422人 | 458人 |

※1 本業(貸出手数料ビジネス)の利益

貸出金平残×預貸金利回り差+役務取引等利益-経費

※2 預金・貸出金・有価証券などの利息収入である「資金利益」、手数料等の収支である「役務取引等利益」、それ以外の業務の収支である「その他業務利益」を合計した利益から、国債等債券損益を控除した利益に対する経費の割合

※3 応用情報技術者、中小企業診断士、宅建、FP1級、簿記2級及びそれらと同等以上の資格

※4 県内総生産は、年度終了の約2年半後に発表されるため、本ゴールは2029年中に発表される2026年度までの達成を目指す

※5 地域のお客さまと経営の意思決定を一緒にできる人材